

### メガホン 30 W

### EP30P

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管し、必要なときにお読みください。

## ■ 安全上のご注意



### 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 使用するときの注意

次のことを必ずお守りください。

守らないと、聴力障害などの原因となることがあります。

- 使用する前には音量（ボリューム）を最小にする。
- スピーカーを耳に向けて使用しない。
- 動作テストなどは、地面に向けて行う。



強制

#### 電池の取り扱いに注意する

次のことを必ずお守りください。

守らないと、電池の液もれ・破裂により、火災・けがの原因となることがあります。

- ショート・分解・加熱をしたり、火の中に入れてたりしない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 電池に直接はんだ付けしない。
- 指定した電池を使用する。
- (+)と(-)に注意し、表示どおり正しく入れる。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。



強制

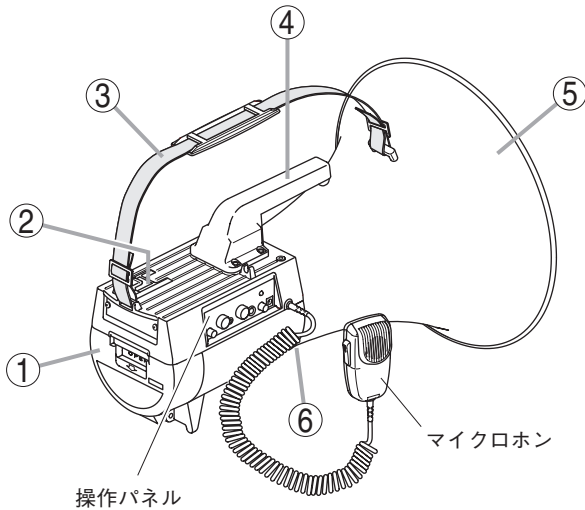
## ■ 特 長

- 本体付けマイクロホンには、トークスイッチやボリュームがあり、手で簡単に操作できます。
- 外部入力端子に、別売の有線マイクロホン、モルテン製電子ピストル、CD、MD、カセットプレーヤーなどを接続して拡声ができます。
- 外部電源入力端子に12V蓄電池を接続して使用できます。
- 操作パネル部の電源表示灯（点灯／点滅）で電池の残量が確認できます。
- マイクロホンは抗菌処理を施しているので、衛生上、安全に使用できます。
- 本機は防水構造になっていませんが、小雨など水滴がかかるような場所では付属の防滴カバーを装着して使用できます。

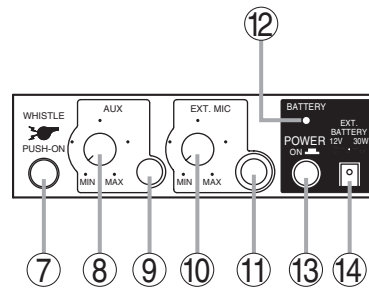
## ■ 使用上のご注意

- 万一、次のような異常が起きたら、販売店にご相談ください。そのまま使用すると故障の原因となります。
  - ・ 煙が出ている、変なおいがするとき
  - ・ 内部に水や異物が入ったとき
  - ・ 音が出ないとき（電池が正しい方向に挿入されており、消耗もしていないことを確認後）
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。故障の原因となることがあります。
- 大雨や強風の中、あるいは水が直接かかる場所では、たとえ付属の防滴カバーを装着しても使用しないでください。
- 長時間電池を入れたままにする場合は、電池が切れていないか、液漏れていないかなどを定期的に点検してください。
- 長時間、音が歪んだ状態で使用しないでください。メガホン内部が発熱し、故障の原因となることがあります。
- 本機の近くで携帯電話などを使用すると、ノイズが発生することがありますが故障ではありません。携帯電話などは本機からできるだけ離れて使用してください。
- ケース外部の汚れの清掃には、水に濡らして固く絞った布を使用してください。また、ひどい汚れには、中性洗剤をしみこませて固く絞った布を使用してください。ベンジン・シンナー・アルコール類などは絶対に使用しないでください。ケースの変形や変色の原因になります。

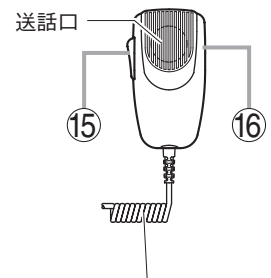
## ■ 各部の名称とはたらき



[操作パネル部]



[マイクロホン部]

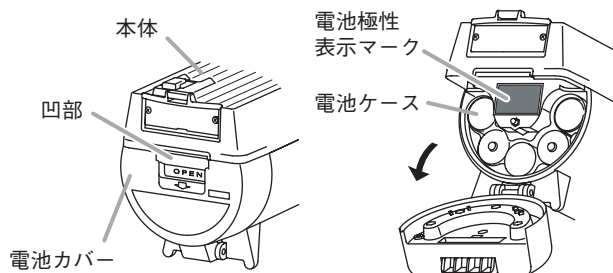


カールコード長 40 cm  
(最大 1.8 m)

- ① **電池カバー**  
内部に電池収納部があります。  
電池を交換するときに開閉します。
- ② **マイクハンガー**  
マイクを使わないときは、この部分に差し込んで固定してください。
- ご注意**  
無理な力はかけないでください。破損の原因となります。
- ③ **ベルト**  
持ち運ぶときや拡声するときに、肩にかけて使用します。  
(長さ：約 1 m)
- ④ **ハンドル**
- ⑤ **スピーカー (ホーン部)**
- ⑥ **スピーカースタンド取付穴**  
ねじサイズ：M8
- ご注意**  
メガホン本体への奥行きは、20 mm 以下となるねじを使用してください。
- ⑦ **信号音スイッチ [WHISTLE]**  
押すとホイッスルが鳴り、離すと止まります。
- メ**  **モ**  
ホイッスルの音量は一定です。ボリュームで変化しません。
- ⑧ **外部入力ボリューム [AUX]**  
外部入力端子に接続した機器の音量を調節します。
- ⑨ **外部入力端子 [AUX]**  
モルテン製電子ピストル、CD、MD、カセットプレーヤーなどの外部機器の出力を、市販のφ 3.5 ステレオミニプラグを使って接続します。
- ⑩ **外部マイクボリューム [EXT. MIC]**  
外部マイク入力端子⑪に接続したマイクロホンの音量を調節します。
- ⑪ **外部マイク入力端子 [EXT. MIC]**  
市販の有線マイクロホンを接続して使用します。  
※ マイクロホンはφ 6.3 大型ホーンプラグ対応の不平衡入力です。
- ⑫ **電源表示灯 [BATTERY]**  
外部入力電源スイッチ⑬を ON にすると点灯します。  
また、電池の残量が確認できます。
- 点灯：電池の残量が十分あります。  
点滅：電池の交換時期です。
- ※ マンガン乾電池では電圧復帰現象がありますので、電池交換時期の目安としてご使用ください。
- ⑬ **外部入力電源スイッチ [POWER]**  
外部入力機器、外部マイクロホンを使用するときに押します。  
スイッチを押すと、電源が入り (ON)、もう一度押すと電源が切れます (OFF)。
- ⑭ **外部電源入力端子 [EXT. BATTERY]**  
12 V バッテリーに接続しても使用できます。
- ご注意**  
外部電源入力端子にプラグを差し込むと、内部電源 (乾電池) は切れて外部電源が優先します。
- ⑮ **トークスイッチ**  
押すと電源が入り、拡声できます。離すと電源が切れます。
- ⑯ **ボリューム**  
上の方へ回すと、音量が大きくなります。



## ■ 電池交換のしかた



- 1 電池カバーの凹部を矢印方向に押して、電池カバーを開ける。
- 2 電池極性表示マークに従って、単1形乾電池(10個)を入れる。  
※ 電池ケースを取り出した場合は、電池ケースにある極性表示をご覧ください。
- 3 電池ケースを本体に収納し、電池カバーを押さえて確実に閉める。

## ■ 本体付けマイクロホンを使用するとき

### ⚠ 注意

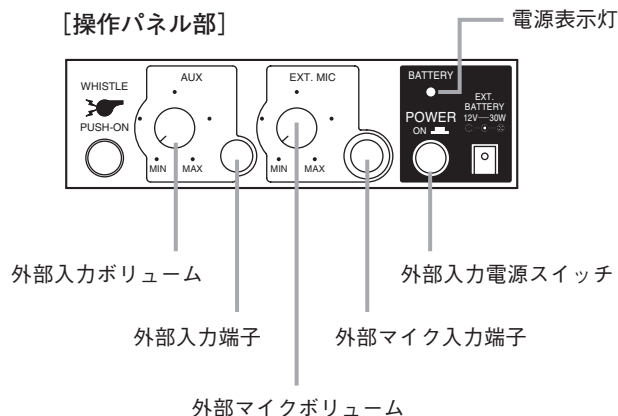
- マイクのトークスイッチを押す前には必ずボリュームを最小にしておいてください。
- 音量テストをするときは、スピーカーを地面に向けて行ってください。

- 1 マイクハンガーからマイクを外す。
- 2 トークスイッチを押しながら、ボリュームでハウリング(キーンという音)が起こらないように適当な音量に調節する。  
室内など音の反響が多い場所ではハウリングが起こりやすいので、特に電池が新しい場合はボリューム目盛りを最大まで上げることができません。ボリューム目盛りの位置は、中間程度を目安に音量を調節してください。
- 3 マイク送話口から1 cm程度の距離で、大きめの声で話す。  
※ マイクを離し過ぎたり、小さな声で話したりすると、音量不足になることがあります。

### マイク収納時のご注意

ボリュームを最小にしてから、マイクハンガーに差し込んでください。  
ボリュームを上げたままの状態では収納すると、マイク着脱時に不用意にトークスイッチを押してハウリングを起こすことがあります。

## ■ 外部機器を使用するとき



- 1 外部機器を接続する。
  - 1-1 一般のマイクロホンを使用する場合  
外部マイク入力端子に、ムービングコイル型マイクロホンを接続します。
  - 1-2 ピストル、CD、MD、カセットプレーヤーなどを使用する場合  
外部入力端子に、市販のφ 3.5のステレオミニプラグを使って接続します。

- 2 操作パネルの外部入力電源スイッチを入れる。  
本機の電源表示灯が点灯します。  
※ 点滅している場合は電池の交換時期です。
- 3 ボリュームで適切な音量に調節する。  
外部マイク入力は、外部マイクボリュームで行います。  
外部入力は、外部入力ボリュームで行います。

### ご注意

接続された外部機器は同時に使用できませんが、機器ごとに音量を調節することはできません。外部入力に接続される外部機器の出力レベルは適切に調節しておいてください。

- 4 使用後は、ボリュームを最小にし、必ず外部入力電源スイッチを切る。

### ご注意

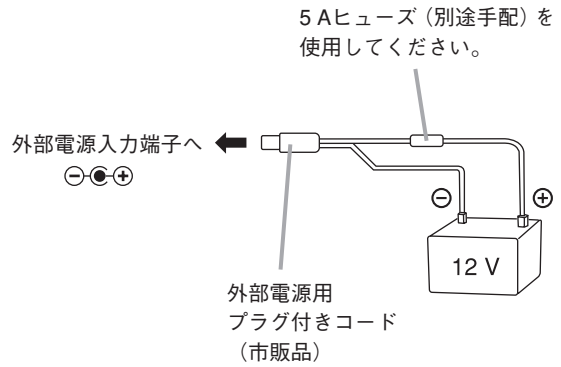
電源スイッチがONの状態では、電気回路に電気が流れたままとり、電池が消耗します。

## ■ 外部電源で使用する時

操作パネルの外部電源入力端子に、12 Vバッテリーを接続しても使用できます。

### ご注意

- 外部電源入力端子にプラグを差し込むと、内部電源（乾電池）は切れて外部電源が優先します。
- 12 Vバッテリーに接続する場合は、安全のため必ず5 Aヒューズ（別途手配）を挿入して使用してください。
- エンジンがかかっている車のシガレットライターソケットなどから電源をとらないでください。バッテリー電圧が高くなっている場合があります、故障の原因となります。



## ■ 仕様

|             |   |
|-------------|---|
| 電 源         | 単1形乾電池 R20P (SUM-1) 10個 (DC15 V)<br>外部電源: 12 VバッテリーまたはDC10~13.8 V (3 A以上)   |
| 出 力         | 定格30 W、最大45 W (AUX入力時)  |
| 信 号 音       | ホイッスル (1,600~2,400 Hz)、プッシュONスイッチタイプ  |
| 電池持続時間*1    | 音声: 約17時間 (JEITA)、信号音: 約90分 (JEITA)   |
| 通 達 距 離*2   | 音声: 約800 m (JEITA)、信号音: 約1,000 m (JEITA)  |
| A U X 入 力   | -10 dB*3 (300 mV)、10 kΩ (φ 3.5 ミニジャック、ステレオタイプも対応)、音量調節付き  |
| 外部マイク入力     | -46 dB*3 (5 mV)、600 Ω、不平衡、φ 6.3 ホーンジャック、音量調節付き  |
| ダ イ ア フ ラ ム | ポリイミドフィルム (振動板、ボビン)   |
| 抗 菌 処 理     | マイクロホン  |
| 電池残量表示      | LED方式 (電源表示灯兼用)、通常時: 点灯、電池交換時: 点滅   |
| 仕 上 げ       | ホーンリング : 塩化ビニル、グレー<br>ホーン部 : アルミ、ライトグレー (マンセル5PB9/1 近似色)、塗装<br>アンプケース上部: アルミダイカスト、グレー (マンセル5PB6.5/1 近似色)、塗装<br>その他 : ABS樹脂、グレー (マンセル5PB6.5/1 近似色) |
| 使用温度範囲      | -10~+40℃  |
| 寸 法         | φ 351 (口径) × 512 (全長) mm  |
| 質 量         | 本体: 3.6 kg (電池別)、マイク部: 150 g  |

\*1 電池持続時間は、1日30分間連続で使用したときの延べ時間です。

\*2 通達距離は、静かな街頭で新しい電池を使用したときのものです。電池の容量低下、周囲雑音、風向き、障害物などの周囲環境で異なります。

\*3 0 dB = 1 V

※ 乾電池は付属していませんので、別途ご用意ください。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

### ● 付属品

防滴カバー ..... 1

## 保証書

本書は下記の保証規定の内容により無料で修理および調整を行うことをお約束するものです

品 名: メガホン  
品 番: EP30P  
保 証 期 間: お買い上げ日より1年間  
お買い上げ日: 年 月 日

株式会社 **モルテン**  
東京本社 東京都墨田区横川5丁目5-7  
大阪・名古屋・福岡・広島・四国・仙台・札幌

## ■ お客様

|      |  |
|------|--|
| おとこ  |  |
| お名前  |  |
| 販売店名 |  |

### 保証規定

■保証期間中にお客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は本保証書に記載された保証規定に従い、無償で修理させていただきますので、製品と保証書をご持参、ご提示の上お買い上げの販売店にご依頼ください。※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。

■保証期間内でも次の場合は有償修理となります。

①保証書のご提示がない場合 ②保証書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合 ③使用者側での輸送・移動時の落下等お取扱いが適当でないために生じた故障・損傷の場合 ④説明書に記載の使用法および注意に反するお取扱い、または不良な修理や改造による故障・損傷 ⑤火災・天災および異常電圧等外部に要因がある場合

■この保証書は国内で使用される場合だけ有効です。This warranty shall be valid only in Japan.

Engineered in Japan, Assembled in Indonesia

EP30P-02

533-03-036-7A